

「新・宮城の将来ビジョン」が描く将来像

4月から新ビジョンがスタート

令和3年度からの10年間の県政運営の基本指針となる「新・宮城の将来ビジョン」(以下「新ビジョン」)を策定しました。これまでの県政運営の理念を継承しながら、社会の変化を捉えた取り組みなどにより、宮城のさらなる躍進を図り、「生まれてよかった、育つてよかった、住んでよかった」と思える宮城を目指します。

これまでの取り組みの成果や課題

平成19年に策定した「宮城の将来ビジョン」に基づき県政を推進し、この間、県内総生産が約1兆円増加するなど「富県宮城」の実現に向けた取り組みが実を結んでいます。

また、東日本大震災から10年が経過しますが、復旧・復興を最優先課題と位置づけ、被災者支援や復興まちづくり、創造的な復興の取り組みに全力を尽くしました。

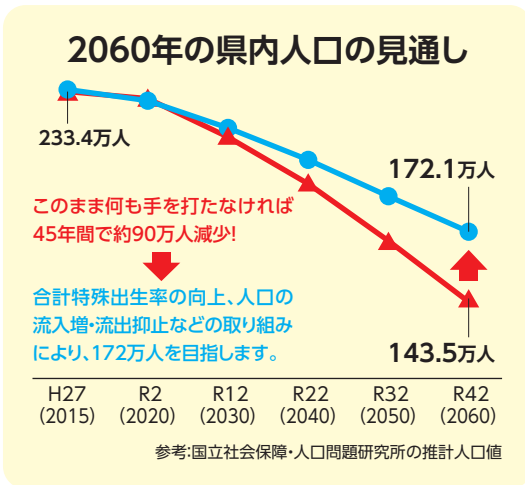
一方で、子育て支援や将来を担う子どもの育成の取り組み強化、復興完了に向けた被災者への継続的な支援などが一層求められています。

今後想定される社会の変化

今後、人口減少が急速に進みます。これまで経験したことのない人口減少社会への対応が非常に重要です。

また、気候変動の影響に伴い大規模化・多様化する自然災害への対応や、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策はもとより、アフターコロナやデジタル化などの社会変化に対応した取り組みも求められます。

このため新ビジョンは、これまでの取り組みの検証と、今後想定される社会の変化などを踏まえて策定しています。



— 「新・宮城の将来ビジョン」の概要 —

県政運営の理念

富県躍進! "PROGRESS Miyagi"

～多様な主体との連携による活力ある宮城を目指して～

これまで積み重ねてきた富県宮城の力をさらに成長させ、県民の皆さんが活躍できる機会と地域の魅力にあふれ、東北全体の発展にも貢献する、元気で躍動する宮城、そして、一人一人が、安全で恵み豊かな県土の中で、幸福を実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城を目指します。

これまで以上に、県民の皆さんをはじめ、企業、NPO、大学・研究機関、行政などが連携・協働しながら取り組みを推進します。



表紙デザインは、宮城大学と協働で作成しました

持続可能な未来をつくるために

10年後に目指す宮城の将来像を実現し、さらにその先、私たちの子や孫の代まで、宮城で安心して暮らすことができるよう、次の3つの視点を重視します。

- 人づくり
- 地域づくり
- イノベーション

SDGs(持続可能な開発目標)の達成にも貢献

SDGsは、誰一人取り残さない持続可能な世界の実現に向けた世界共通の目標です。SDGsの特徴や17のゴールの内容などを、新ビジョンにできる限り反映しています。



復興

震災復興計画を受け継ぎ、復興完了に向けたきめ細かなサポートを

県は、平成23年10月に震災復興計画を策定し、復旧・復興に向けて全力で取り組んできました。その結果、ハード面については多くの地域で取り組みが完了しましたが、被災者の心のケアや地域コミュニティの再構築などソフト面については、今後も中長期的な取り組みが必要です。

新ビジョンでは、震災からの復興を成し遂げるため、震災復興計画を受け継ぎ、一人一人に寄り添った丁寧なサポートを実施します。



多世代の住民で賑わう復興公営住宅での夏祭り

子育て支援や教育分野を新たな柱に。 政策を推進する4本の柱と8つの「つくる」

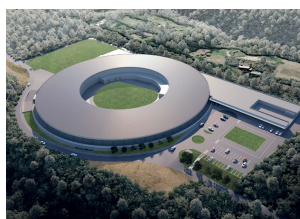
新ビジョンでは、**1** 産業・経済、**2** 子ども・子育て、**3** 地域社会づくり、**4** 県土づくりの4本の柱を掲げるとともに、柱の中に「持続可能な未来」のための8つの「つくる」を定め、さまざまな取り組みを推進していきます。

※県政運営の理念「**PROGRESS**」は、8つの「つくる」の英語の頭文字を組み合わせており、「富県躍進」を目指し前進する宮城の姿を英語で表しています。

1 産業・経済

- ① 全産業で、先進的取組と連携によって**新しい価値**をつくる (Produce / Promotion)
- ② 産業人材の育成と産業基盤の活用によって**持続的な成長**の基礎をつくる (Sustainable growth)

県内産業の持続的な成長促進に向けて、新産業の創出やイノベーションの促進、観光振興、農林水産業の国内外への展開、若者の県内定着、産業人材の育成などに取り組みます。



次世代放射光施設完成予想図

2 子ども・子育て【新規】

- ③ 子ども・子育てを社会全体で**切れ目なく応援**する環境をつくる (Support a new generation)
- ④ 社会を生き、未来を切りひらく**力をはぐむ教育**環境をつくる (Education)

子ども・子育ての取り組みを強化するため、新たな柱として掲げ、社会全体で子育て世代を支え、子どもたちが夢や自分らしい生き方を実現できるよう、総合的な少子化対策や教育環境の充実などに取り組みます。



高校生の海外をフィールドとした探求活動

3 地域社会づくり

- ⑤ 一人ひとりが**いきいきと豊かに**生活できる環境をつくる (Richness)
- ⑥ **健康で、安全安心に暮らせる**地域をつくる (Good health / Good life)

安全安心に暮らせる持続可能な地域社会の形成を目指し、移住・定住・関係人口の増加や地域活性化に向けた取り組み、心身の健康づくりや医療・介護サービスの体制整備などに取り組みます。



交流しながらレクリエーションを楽しむ高齢者

4 県土づくり

- ⑦ **自然と人間が共存共栄**する社会をつくる (Only one Earth)
- ⑧ 世代を超えて安全で信頼のある**強くしなやかな**県土をつくる (Resilience)

自然災害の大規模化・多様化が進む中、これら自然災害への対策の強化や脱炭素社会の実現に向けた取り組みの促進、豊かな自然環境の保全・再生、社会資本の整備・維持などに取り組みます。



気仙沼向洋高校の生徒による避難所開設訓練

